

「2024年韓国・延世大学校スプリングスクール派遣報告書」

京都大学人間・環境学研究科修士課程1年 LU ZHIYING

① 学習成果

今回、延世大学スプリングスクールに参加したことで、私の学習に対する姿勢や国際理解に大きな変化があった。派遣前は、韓国語を主に独学で学んでおり、ある程度の読解力と語彙力は身につけていたものの、実際に韓国語を用いて人と交流する機会はほとんどなかった。しかし、延世大学での授業や日常生活の中で韓国語を使う経験を通じて、自信を持って韓国語でコミュニケーションを取ることができるようになった。また、授業では文法や表現の正確さだけでなく、実践的な会話力も重視されていたため、学んだことをすぐ使える場面が多く、語学学習へのモチベーションが一層高まった。

② 海外での経験

延世大学での生活を通して、学内外のさまざまな活動に触れることができたのも貴重な経験だった。特に印象的だったのは、延世大学の演劇部による公演を観劇したことである。韓国の若者の感性や表現の仕方、歴史と社会への関心などが反映された舞台を間近で見ることができ、言語だけでなく文化の奥深さにも触れることができた。言葉の壁を越えて共感できる瞬間が多くあり、改めて芸術が持つ力を実感した。こうした体験を通じて、韓国文化に対する理解がより深まり、今後も多様な角度から韓国社会を学んでいきたいという思いが強くなった。

③ プログラム内容

今回のプログラムでは、午前中に韓国語の授業、午後には文化体験や交流活動が組み込まれており、非常に充実した日々を送ることができた。授業では、少人数での会話練習やペアワークを通じて、実践的な語学力を鍛えることができた。また、韓国人学生との交流イベントや市内の歴史的な名所の訪問などを通して、現地の人々の考え方や生活習慣にも触れることができ、教科書では学べない生きた知識を得ることができた。

④ 進路への影響について

こうした経験を通じて、将来的にはより長期間の韓国留学にも挑戦してみたいという気持ちが芽生えた。これまで私は東アジアの近現代文学、とくに女性作家の作品に関心を持ち、日中の文学を中心に研究してきたが、今後は韓国の文学や女性像の描かれ方についても本格的に学んでいきたいと考えるようになった。韓国語の運用力をさらに高め、原文で韓国文学を読解できるようになることが、私の次の目標である。将来的には、東アジアの文化と社会に関する知識を活かし、多文化共生に寄与できる分野や、国際的な教育・文化交流の場で働くことを目指している。今回の短期派遣を通じて、多様な価値観に触れ、自分の視野を広げることができたことは、私の人生にとってかけがえのない財産である。今後も今回得た学びを基盤として、さらに広い世界へと一歩を踏み出していきたいと思う。

⑤ 延世大学校国際学部の講義を聴講した感想

During the Yonsei University Spring Program, I had the valuable opportunity to attend two lectures offered by the Underwood International College (UIC). Professor Kahm's lecture on Korea-Japan Relations provided deep insights into the historical and political complexities that shape bilateral ties. I was particularly impressed by how the class encouraged students to critically examine both nations' perspectives rather than accepting a single narrative. In Professor Helen Lee's class, "Masculinities, Modernities, and Men," I was introduced to gender studies from a sociocultural perspective. The lecture examined how concepts of masculinity have evolved in modern Korean society. It was eye-opening to see how academic theories could be applied to everyday phenomena, such as media representations and social expectations. The class environment was dynamic, with active student engagement and critical discussions. Both lectures not only deepened my academic curiosity but also inspired me to explore these topics further in my graduate research. I truly appreciated the

<事務局使用欄> 受付番号 :

-

opportunity to engage with UIC's intellectually stimulating atmosphere.